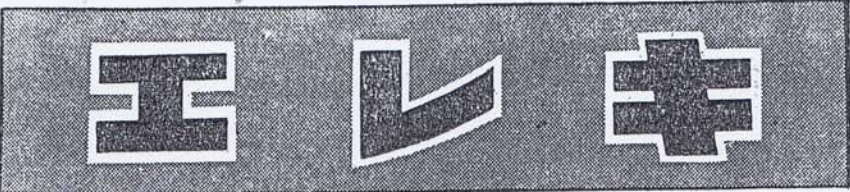


愛知工業大学
名古屋電気短期大学
名古屋電気工業高等学校
愛知工業大学附属中学校



発行所
名古屋電気学園同窓会
名古屋市中千種区若水町1の18
TEL②012・6639・6642・2267
②0740

創立50周年記念式典

会場を埋め尽した人々 涙さそう学園長挨拶

名古屋電気学園創立五十周年記念式典は、去る六月一日金山体育館において、桑原康知事、杉市市長をはじめとして各界の名士多数と、P・T・A、同窓会、生徒などの出席のもとに盛大に行われた。会場に当てられた金山体育館もこの日ばかりは全員を取容しきれず数多くの方が席を立って式に参列している風景が見られた。



展示会場で開会テープを切る後藤学長(中央)と御孫さん(右端)



時代の波に乗ったといえ五十年の永きにわたって電気技術者の養成に邁進して来た学園も、その間にはたゞに於て多様な行事が行なわれてきた。

多くの難所を通過せねばならなかった。先代後藤三郎先生の意志をつぎ、現在の学園の姿にまでつひつぱって来られた後藤三郎先生がその歴史を語られた時、その苦難の道を歩まれた姿が聞きいる人達の胸に真に迫り、語る人、聞く人も、一時その感激によじ、涙を流した。その涙にうるんだ瞳とみの奥にはもっとなんばらしい学園の発展図が描かれたことだろう。

去る六月一日母校創立五十周年記念式典の後母校で催された同窓会総会に於て賛成を得ました記念事業に就きまして同窓会、理事会に於て、同窓会館の建設、

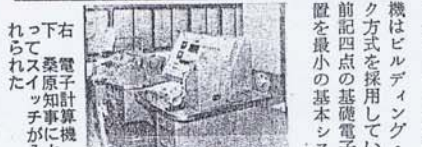
将来建設を予定されている工業図書館の図書寄贈、同窓会名簿の作成配布等にもなう募金について協賛されて居りますので決次第趣意書をお願い致すことになり申すから会員の皆さま宜しく御願ひ申し上げます。

愛工大新聞発行
大学の学友会では創立五十周年を記念して大学単独で新聞を発刊し、その第二号が十二月十日に出た。大学生の新聞らしく政治問題にもふれているが、「ディジタル電子計算機と二進法について」について二面の半分程を使っているのが注目される。

電子計算機購入する 中京地区の計算センターに

わが国の教育界でも珍らしいと言われる電子計算機が経営工学研究の一環として又産業界の人々にも大いに利用してもらいたいとの意向のもとに旧図書館に備えつけられた。

製品は日本電気社製NEC-1200型で計算機本体、操作卓、光電子テープ読取機、各一台ずつ購入され価格は四点約三千万円である。計算機本体は幅幅1500×奥行1000×高さ1800、重量1200kgと比較的小型である。又この計算機はビルディング・プロック方式を採用しているため前記四点の基礎電子計算装置を最小の基本システムと構成することが出来る。



利用範囲は計算を主体とする汎用電子計算機として高度に使用され科学、技術計算など広く利用される。機械の火入式は本学園の理事であり愛知知事である桑原氏他多数の名士参列のもとに一月八日行われた。なお本校の中・高生徒には二月一日より一、七、八の間に簡単な講義・実験を行う予定である。その後は市内の高、中、小学校の理科担当の先生を連ね講習会を開くとのこと。学園長の言われるようにこの電子計算センターは、学園のみならず、中部地域経済界に大いに貢献することとなる。

愛知工業大学 第一部(昼)
学科及び募集人員
電気工学科・電子工学科・機械工学科 各四十名
経営工学科 二十名
応用化学科 二十名

愛知工業大学 第二部認可さる
愛知工業大学第二部(夜)する夢を持っている。
工学部電気工学科及機械工学科の設置申請中とのこと十二月二十日文部省私立大学設置審議会に於いて全員一致のもとに正式に認可された。向学に燃える勤労青年の大学教育授課可能という一大朗報である。なおやがては日進町方面へ屋間の大学を全部うつし現在の大学を大学院に使用し、その記録を更新した。なお三種には左記の生徒が合格した。

愛知工業大学 第二部(夜)
学科及び募集人員
電気工学科・機械工学科 各四十名
試験科目
第一次 昭和38・3・10 午前9時午後3時
第二次 昭和38・4・4 午前9時より

利用範囲は計算を主体とする汎用電子計算機として高度に使用され科学、技術計算など広く利用される。機械の火入式は本学園の理事であり愛知知事である桑原氏他多数の名士参列のもとに一月八日行われた。なお本校の中・高生徒には二月一日より一、七、八の間に簡単な講義・実験を行う予定である。その後は市内の高、中、小学校の理科担当の先生を連ね講習会を開くとのこと。学園長の言われるようにこの電子計算センターは、学園のみならず、中部地域経済界に大いに貢献することとなる。

愛知工業大学 第一部(昼)
学科及び募集人員
電気工学科・電子工学科・機械工学科 各四十名
経営工学科 二十名
応用化学科 二十名

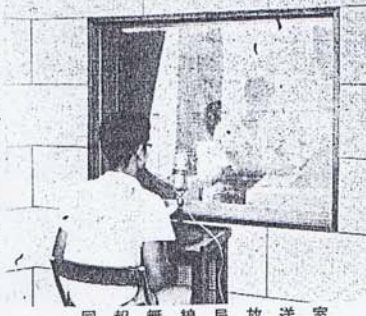
紺綬褒章に輝く 井戸奎三君
ど数々の社会事業に貢献したことを表彰されたもので同君のため大いに祝福する次第である。同君は中部配電を定年退職後美濃戸紙工業所に刻苦経営の傍ら中村区民生委員千成小学校PTA委員、町総代など日夜奔走される半面開を得て清流に糸垂るる風懐を忘れず健春古稀の寿を迎え愈々健康「テレビセット」を、また中村区千成小学校へ井戸文庫を寄贈せらるるなど。

愛知工業大学 第一部(夜)
学科及び募集人員
電気工学科・機械工学科 各四十名
試験科目
第一次 昭和38・3・9 午前9時午後3時
第二次 昭和38・4・4 午前9時午後3時

同報無線局

本格的運用近し

名古屋電気学園同報無線局は、現在愛知県下に鳴海、いし二時間の定時送信を行っている。町、大府町、刈谷市、幸田町、常滑市、稲沢市、犬山市、岐阜県下に笠原町、巣では、著しく増加した学生南村、三重県下に鈴鹿市の生徒及び拡がった通学分布合計一〇カ所に受信所を、まかなうためには不十分であり、毎日午後六時から午後



同報無線局放送室

八時までの間に三〇分間受信所を思い切つて増設したいと考えており、また学生が各自自己の受信機を持って傍受することはきわめて便利であり、且つ学園としてもこのような希望を拒むことはできないので、このためにもできる限り安価で性能の良い受信機を至急調達する必要性が迫られている。

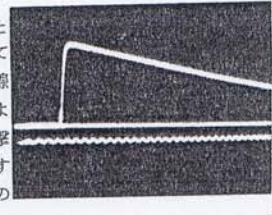
目下さるメーカーに命じて試作させた普及型受信機を高等学校生徒の比較的遠距離から通学する者の家庭におき、感度調査を行なっている。

調査中なので結論を述べるのはまだ早過ぎるが、今までの調査結果によれば、学園から半径二五キロメートル(直線距離)以内は心配はない。二五キロメートルをこえ、三〇キロメートルまでは、アンテナを少し、受信する相手の数が相

衝撃電圧試験装置について

送電線の距離が長くなり且電圧が高くなるにつれ異常電圧に対する問題が一層重大になる。

電力回路にあらわれる異常電圧には内部的ものと外部的のものと大別して二つになるが、内部的としては遮断器により一部閉断せられるとか、送電線の断線短絡等により異常電圧を発生する。外部的には雷による直撃又は誘導による異常電圧であるが、何れも衝撃電圧である故、商用周波数による絶縁の強さを保障すると同時に衝撃電圧に対してもその耐力を試験するのが合理的とされておる。



従って衝撃電圧発生装置は高電圧工学に於ては欠く事の出来ないものとなる。本学に設置した発生装置を次に紹介すれば

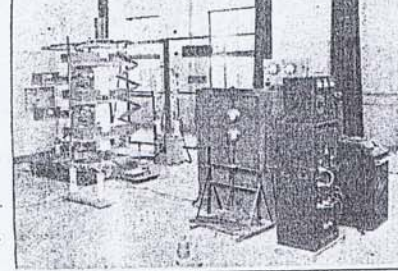
方式 二並列回路直列充電方式
型式 直立型
容量 全容量 0.05μF 最大蓄積エネルギー3KW
極性 正極性並負極性
標準波発生能率 80%(350×0.8)=280KV

- a 発生器本体 b 充電用直流電源部 c 操作盤 d 始動衝撃電圧発生装置
- e 電圧測定用標準間隙 f 波形観測、撮影装置

据付けた状態は写真の如く左が発生装置で右方は球間隙操作盤、観測装置等である。波形写真は200KVのもので(1.1×43)nsである。

実験或は研究としては次の課題がある。

1. 碍子碍管其他絶縁物の閃絡試験
2. 変圧器回転機P.T.C.T.等送電線に連結せられるものは衝撃電圧の侵入するおそれのあるものはこれによって試験する必要がある。
3. 避雷器は発電所に設置されて雷電圧の侵入に際し異常電圧を制限するのが普通であるが、避雷器の特性、保護能力は充分調べる必要がある。
4. 送配電線の架空地線に対する保護特性、異常電圧の送電線に於ける伝播、減衰状態、或はその波形変圧等の実験。



名電プラスバンド アメリカへ行く

昨年八月、名古屋市とロサンゼルス市との都市提携三周年を記念して「ロサンゼルス派遣名古屋学生吹奏団」が親善使節として渡米した。

この一行(三十五名)には本校十八名(部長藤佐古田先生を含む)が参加し、日米親善に大きな成果を上げた。

一行はロサンゼルスで受けた歓迎は、ロサンゼルス空港で数万名の振る日章旗と星条旗の小旗の波に迎えられた時より始まった。

特に、小東京の二世、三世祭には各地で親善演奏を行ない「ナゴヤボーイズバンド」の力を発揮した。日系人の中には感涙にむせびながら君が代行進曲に聞き入る姿も見られた。

一行は九月十一日午後一時十分、名古屋駅に到着し、出迎える家族を始めその他関係者、報道陣に取り囲まれた。同乗RTD前では高麗女学園のプラスバンドが歓迎演奏を受け一層感激の思いにひたっていた。本校からも岩井校長等が出迎えた。

その後中日新聞社事業次

迅速に伝達して学園と学生生活の家庭との間の緊密な連絡を保持することが期待される。



名古屋学生吹奏楽団一行

長から帰国挨拶があり二時から市中パレード(約三千人)と一般市民が詰めかけ拍手でこれを迎えた。

部長藤佐古田先生は帰国の喜びを「私共一行は皆様の暖かい御支援を受け、渡米してまいりました。訪問中はどこへ行っても大歓迎を受け、団員も練習成果を十分発揮して来た時は多数の古風に帰って来た時は多数の御礼申し上げます。」と感激しながら語った。



松岡政吉、芳賀信男、寺尾博之、大家茂好、恩田正雄、加藤明、加藤章、荒川

去年六月九日午後六時から第十六回のクラス会が本部電力知多松風荘で行なわれた。当日の出席者は左記の通り

松岡政吉、芳賀信男、寺尾博之、大家茂好、恩田正雄、加藤明、加藤章、荒川



第16回卒業式

総会で挨拶する後藤学園長

ラソ会開かる

十二月二十日午後四時より高蔵寺の「白鹿館」で後藤学園長御出席のもとに盛んな行なわれ、支部の結束を一段と強めた。



①羽田空港②ロサンゼルス市中行進③ロソ市マッカ一サ公園の演奏④CBSテレビジョン出演中の団員(古田先生撮影)

お願ひ 当名電学園同窓会 今機関紙「エレクトロ」新聞への寄稿をどうぞお願ひいたします。

この解決方法として、受信機の性能を一段高度なものにするか、高利得のアンテナ(八木アンテナのような)を使用するか、それともこの双方を採用するかについて検討中である。

受信機の性能の改善については、メーカーと交渉中。生徒に対しては、高利得アンテナの簡単な作り方を指導することを考えている。

さて受信機の問題が解決あらしめ、また緊急通報を

同窓会便り

六月一日午後三時三十分より母校体育館に於て催された。参加者百余名、最初同窓会便り、その後、総会中常任理事を若干名置くこと、同窓会名簿を整備発行すること、同窓会支部の結成を促しその運営を活性化して発展を計ること。

同窓会役員忘年会

十二月十五日午後六時より布池町の「泉玉」で後藤学園の御出席のもとに忘年会を開いた。

席上後藤学園長より愛知工科大学第二部(夜間)工学部電気工学科、機械工学科設置認可内定(後日認可決定)の件、愛知郡日進町に三万坪を購入し、運動場、野球場、校舎敷地として整理中である事、また電子計算機約三千万円を本学に購入設置して学生の教育指導は勿論中部地方の産業発展のために貢献するとの事、最後に先に関係された学園創立五十周年式典の盛大に終わった事に対しての御礼の言葉があつて和気あいあいの内に本会は終了した。

同窓会

六月中旬学園を參觀された約四十名の同窓生は母校の発展を目的のあたりに見られて大変喜んで居られました。当日学園長にお土産として卓上用の石燈籠を贈られました。

同窓会

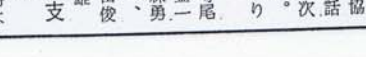
事業としての名実共に学園にふさわしい同窓会館の建設計画にもいよいよ同窓会に於いてこの際一萬三千円同窓会の総力を結集し併せて夫々の職場事業主の御援助を懇請して同記念事業協賛金の案が出され色々話し合ったが時間の関係で次回に相談する事になった。当日の出席役員は左の通り

(敬称略)

横山敏夫、石野清、寺尾博之、大矢竜明、野崎金一、竹内東司、長谷部勇、森勇夫、小原昭男、中野久一、津田登、石原景介、亀田俊明、高木信一、野牧一雄

同窓会名電学園支部忘年会開かる

十二月二十日午後四時より高蔵寺の「白鹿館」で後藤学園長御出席のもとに盛んな行なわれ、支部の結束を一段と強めた。



岡崎同窓会